

平成22年第3回定例会
平成21年度各会計の決算を認定

一般会計決算歳出総額852億円



ごみの減量を目指して

平成22年第3回市議会定例会は、8月30日から9月27日までの29日間の会期で開催されました。市長提出議案は、平成21年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど22件を審議した結果、可決10件、認定10件、同意2件となりました。委員会提出議案は、四谷6丁目墓地建設計画に係る経営許可申請に対する不許可を求める意見書など2件を、議員提出議案は、新たな経済対策を求める意見書など2件を審議し、すべて可決されました。また、陳情5件が審議されました。

定例会日誌

（次の日程で開催しました）
8月30日 本会議（委員会付託等）
31日 "（一般質問）
9月1日 "（"）
2日 総務委員会
3日 文教委員会
6日 厚生経済委員会
7日 建設環境委員会
8日 基地跡地対策特別委員会
9日 再開発対策特別委員会
10日 市庁舎対策特別委員会
14日 本会議（常任委員会審査報告等）
15日 予算・決算特別委員会

意見書

◎UR賃貸住宅居住者の居住安定策確立を求める意見書
UR賃貸住宅は我が国におけるかけがえのない公共賃貸住宅であり、事業見直しの一方で、居住者の居住の安定が脅かされるようなことがあつてはならない。本市議会は、政府に対し、独立行政法人都市再生機構の見直しに当たっては、UR賃貸住宅を公共賃貸住宅として適切な管理・組織のもとで存続させることなどを實現するよう強く要望する。

◎新たな経済対策を求める意見書
政府は、平成23年度予算の1割削減方針を打ち出しているが、深刻な不況に苦しむ地域経済・雇用を守るためには、むしろ、即効性のある事業を前倒しで行うなど、景気を刺激する政策を打ち出すべきである。本市議会は、国会及び政府に対し、地域経済の活性化に向けて、来年度予算における公共事業費を維持・拡充し、地域経済・雇用の下支えをするなどの政策を實行するよう強く求める。

◎四谷6丁目墓地建設計画に係る経営許可申請に対する不許可を求める意見書
本市では、「府中市内における墓地・墓園の造成に関する指針」を策定し、市内における新規の墓地建設を認めない立場をとっている。当該計画地周辺には住宅地も存在しており、墓地建設によって、交通渋滞の発生や景観の損失など住環境の悪化が懸念される。本市議会は、都に対し、府中市四谷6丁目9番地1外で計画中の墓地の経営については許可することのないうように強く要望する。

◎米価下落への緊急対策を求める意見書
米価下落の原因は、米価下落と財政支出拡大の持続的連鎖が生じる不適切な戸別所得補償モデル事業にある。政府は直ちに米の戸別所得補償を打ち切り、米の過剰在庫解消などの政策を強力に推し進めるべきである。本市議会は、国会及び政府に対し、現下の米価が下落している現状を真しに受

人事議案

定例会の最終日の本会議に、府中市オンブズパースンの委嘱の同意を求める議案が提出され、次の方々が、同意されました。

- 中根 勝士 氏（66歳）
- 鈴木 眞理子氏（61歳）